

栃木リフト大会◆初出場3位
宮本運輸 桜井 拓也氏



協力・期待に応え尽力 元整備士の経験生かす

【栃木】「宮本一成社長が、期待に応えようと頑張った」と語るのは、宮本運輸（栃木県那須塩原市）でドライバーとして勤務する桜井拓也氏（31）。7月に開かれた陸災防栃木県支部（石塚安民支部長）の

初出場ながら3位入賞の好成績を収めた桜井氏

フォークリフト運転競技栃木県大会で、初出場ながら3位入賞の好成績を収めた。桜井氏は2020年9月に

同社へ入社。「トラックにはずっと興味があった。悩んだがチャレンジしようと思い、入社した」と話す。2ト車や4ト車でスポット運行をメインに乗車。「子供がいるので、長距離になりすぎないように、

シフトを配慮してもらっている。ありがたい」

フォークリフトとの縁は新卒で就いた仕事までさかのぼる。「フォークリフトの整備士をやっていたので、点検やそれに伴う運転は以前から行っていた」。この経験もあり、

宮本氏が桜井氏にリフト大会出場を打診、挑戦することにした。整備士の経験はあるものの、準備は大変だったという。「実際に荷物を扱うのは整備とは勝手が違う。点検競技も制限時間が短いので練習を重ねた」と振り返る。更に、宮

本氏が知り合いから、リフト大会入賞経験のあるドライバーを紹介してもらい、レクチャーも受けた。「出場が決まってきたから宮本社長が様々な面でサポートしてくださったので、自分も頑張って期待に応えようと思った」

3位入賞の知らせは宮本氏からの電話で受けた。「ミスしたと思っていたので、びっくりした。2位とは僅差だったので、出場を重ねることに成績も伸びるのではないかと。来年も出場して更なる好成績を目指したい」

（伊代野輝）